

久元 祐子 ピアノ演奏法講座

『続・一歩上を目指すピアノ演奏法』 (全5回シリーズ)

PROFILE 久元 祐子 Yuko Hisamoto

東京芸術大学音楽学部器楽科(ピアノ専攻)を経て、同大学大学院修士課程を修了。全国各地、海外でリサイタルを開催。日本フィルハーモニー交響楽団(小林研一郎氏指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団(金聖響氏指揮)、神奈川フィルハーモニー交響楽団(飯森範親氏指揮)、テレマン室内合奏団(延原武春氏指揮)、ラトヴィア国立交響楽団(ヘルベルト・ギーゼンス指揮)などのオーケストラと協演。ベルリン弦楽四重奏団、またNHK交響楽団、読売交響楽団メンバーとの共演など室内楽のコンサートにも多数出演している。

NHK FMリサイタル、NHKラジオ深夜便、NHK名曲リサイタルなどの放送番組にも出演。音楽を多面的にとらえることをめざし、レクチャーをまじえたレクチャー・リサイタルにとりくみ、好評を博す。

またクラヴィコード(M・ヴェルカ製作)をはじめ、ショパン時代のピアノ(ブレイエル1843年パリ製)、リスト時代のピアノ(エラール1868年パリ製)などの歴史的楽器を所蔵。それらの楽器を使っての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追い求めている。

CD《青春のモーツァルト》《名曲による「花束」》《ノスタルジア・懐かしい風景》《久元祐子・ショパンリサイタル》《ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン》などをリリース。

著書に「作曲家別演奏法Ⅱ モーツァルト」(ショパン)、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「モーツァルト・18世紀ミュージシャンの青春」(知玄舎)、「モーツァルトはどう弾いたか」(丸善出版)など。

園田高弘賞、毎日21世紀賞など受賞。

国立音楽大学音楽学部講師、日本ラトビア音楽協会理事、セレモアコンサートホール武蔵野顧問。

久元 祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp>



第1回 2010年 6月29日(火) 10:30～12:30

「ベートーヴェンとシューベルト」

- ♪ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 作品13「悲愴」
- ピアノ・ソナタ 第24番 嬰へ長調 作品78《テレゼ》 第1楽章
- ♪シューベルト 「楽興の時」から ハ短調 作品94の3

第2回 2010年 7月27日(火) 10:30～12:30

「メンデルスゾーン、シューマンⅠ」

- ♪メンデルスゾーン 無言歌 作品19の4「信頼」、作品53の1「岸边にて」、作品62の6「春の歌」
- ♪シューマン 《子どものためのアルバム》作品68から
- 「想い出」、「冬」、「愛しい五月、お前はまたやってきた」

第3回 2010年 9月10日(金) 10:30～12:30

「シューマンⅡ」

- ♪シューマン アラベスク ハ長調 作品18
- 《森の情景》作品82から「孤独な花」、「予言の鳥」
- 《子供の情景》作品15から「見知らぬ国から」、「トロイメライ」

第4回 2010年 10月1日(金) 10:30～12:30

「ショパンⅠ」

- ♪ショパン ワルツイ短調 作品34の2、変ニ長調 作品64の1「小犬のワルツ」、変イ長調 作品69の1「別れ」、
- ノクターン 変ホ長調 作品9の2、嬰へ長調 作品15の2、ハ短調 作品55の1、嬰ハ短調 遺作

第5回 2010年 11月8日(月) 10:30～12:30

「ショパンⅡ」

- ♪ショパン エチュード ホ長調 作品10の3「別れの曲」、ハ短調 作品10の12「革命」、
- 変イ長調 作品25の1「エオリアンハーブ」、
- マズルカ イ短調 作品59の1、変イ長調 作品59の2、嬰ハ短調 作品59の3

会場/カワイ表参道 コンサートサロン パウゼ
 受講料/一般2,000円 会員1,500円 全5回通し券 9,000円

主催/カワイ音楽振興会
 問い合わせ先/カワイ音楽振興会 03-5485-8511 カワイ表参道 03-3409-2511
 ホームページからもお申込み頂けます。 <http://kawai-kmf.com>

